

3 最終需要による生産誘発

先にも述べましたが、全ての生産活動は、最終需要を満たすために行われています。つまりは、全ての生産活動は最終需要によって誘発されると言えます。このように、ある産業に生じた最終需要を賄うために、各産業で直接・間接に必要となる生産額を生産誘発額と言います。

このことから、平成27年の県内生産額7兆3,556億円は、最終需要6兆6,486億円により誘発されたと考えられます。これを、最終需要の項目別に見ると、移輸出が全体の約半数を占める3兆6,951億円と最も多くの生産を誘発していることが分かります。次いで民間消費支出が1兆6,762億円、一般政府消費支出が1兆346億円などとなっています(表23)。

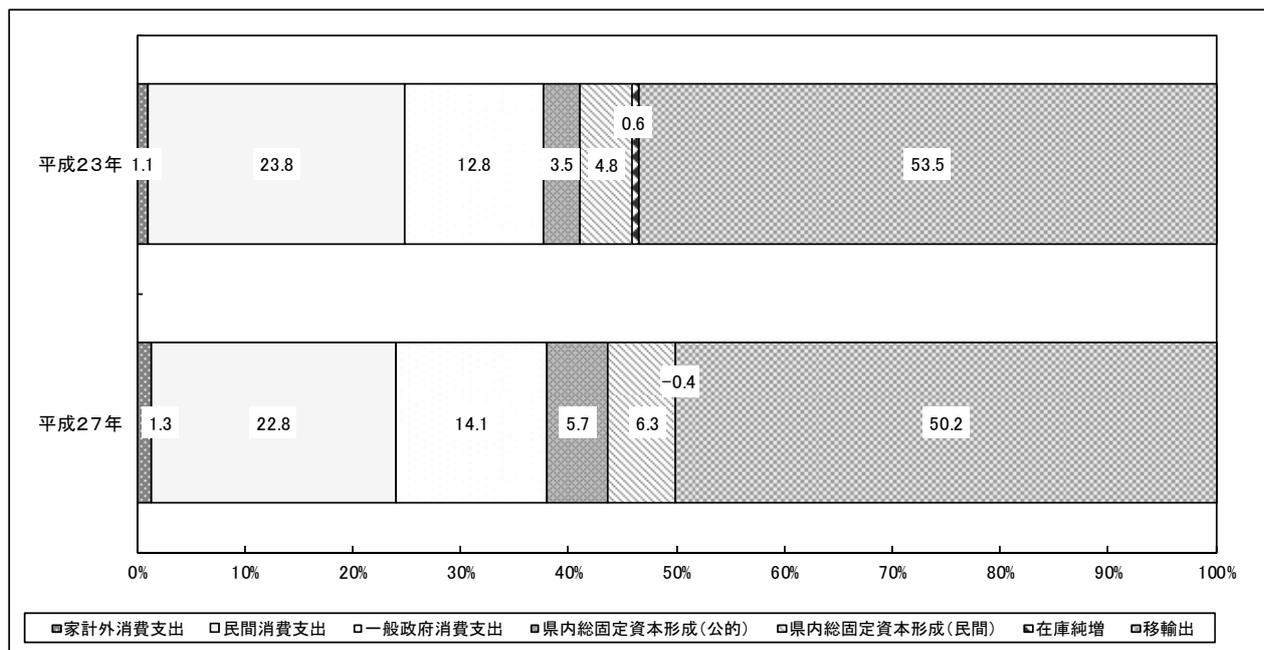
表23 最終需要と生産誘発

	生産誘発額(百万円)		生産誘発依存度(%)		生産誘発係数	
	平成27年	平成23年	平成27年	平成23年	平成27年	平成23年
和歌山県						
家計外消費支出	96,451	77,933	1.3	1.1	0.888778	0.876544
民間消費支出	1,676,246	1,740,260	22.8	23.8	0.820579	0.849452
一般政府消費支出	1,034,562	936,072	14.1	12.8	1.202933	1.228741
県内総固定資本形成(公的)	418,614	254,641	5.7	3.5	1.131854	1.252438
県内総固定資本形成(民間)	464,798	352,218	6.3	4.8	0.800898	0.782905
在庫純増	-30,133	44,037	-0.4	0.6	0.483759	0.694525
移輸出	3,695,103	3,914,779	50.2	53.5	1.344001	1.441647
最終需要計	7,355,642	7,319,939	100.0	100.0	1.106353	1.156113

次に、各産業部門の生産が、どの最終需要項目によりどれだけ誘発されたかの割合を示している生産誘発依存度を見てみると、上記で述べているように移輸出が50.2%と全体の半数以上を占めていることから、本県の経済は県外の需要に多くを依存していることが分かります。

また、下の図18を見てみると、民間消費支出と在庫純増、移輸出を除いた項目の占める割合が増加していることが分かります。

図18 最終需要項目別生産誘発依存度

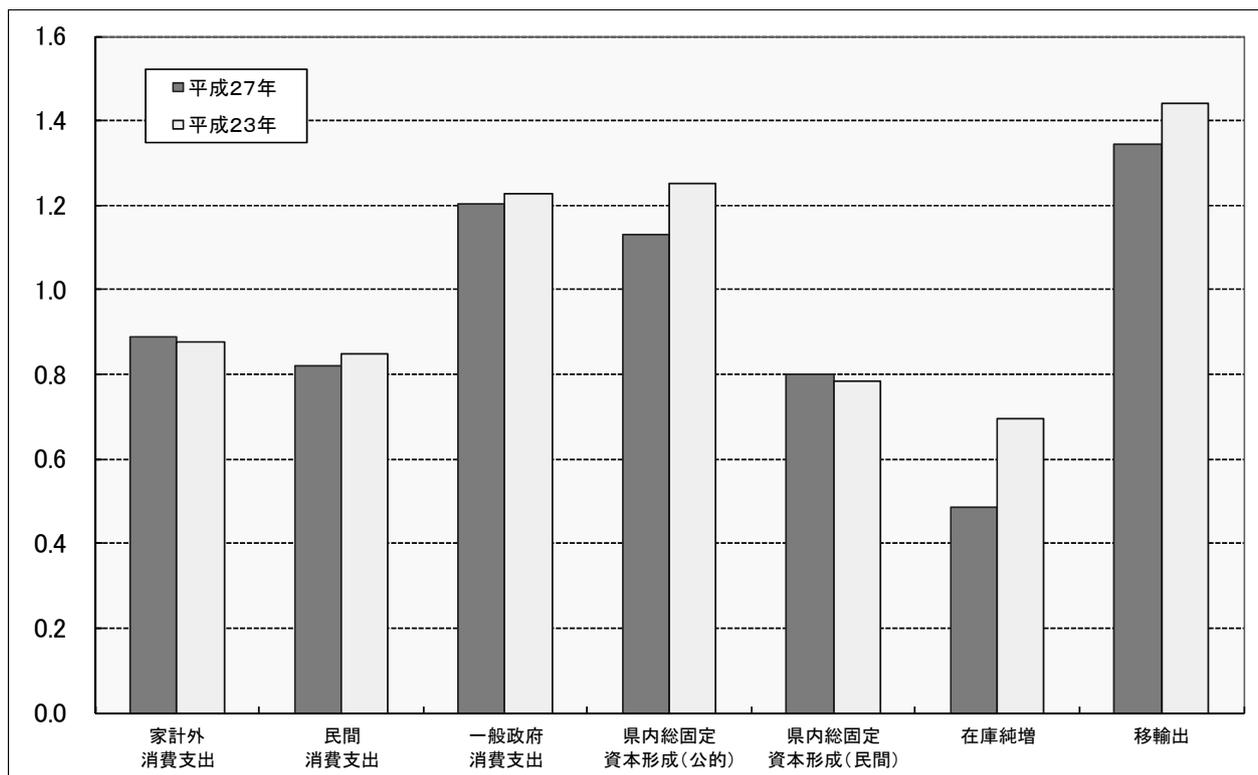


また、1単位の最終需要によって、県内生産がどれだけ誘発されるかを示している生産誘発係数を最終需要項目別に見てみます。

移輸出が最も高く1.344001倍となっており、次いで、一般政府消費支出が高く1.202933倍となっています。また、他に1倍を上回る高い値を示しているのは、県内総固定資本形成（公的）一般政府消費支出の1.131854倍となっています。一方、家計外消費支出や民間消費支出などは、需要の県外流出が多いことから、誘発の度合いが相対的に低いのが特徴です。

平成23年から見ると、全体的には若干低下傾向であり、平成27年の最終需要全体では1.106353倍となっています。これは、1単位の需要があった場合に、約1.1単位の生産が行われることを示しています(表23.図19)。

図19 最終需要項目別生産誘発係数



解 説

生産誘発額 … 最終需要項目別生産誘発額合計＝県内生産額

生産誘発依存度 … 生産誘発依存度＝各最終需要項目別生産誘発額÷最終需要項目別生産誘発額合計

生産誘発係数 … 生産誘発係数＝各最終需要項目別生産誘発額÷各項目別最終需要額